

麦

二年 画数 7
筆順 十 圭 丰 麦
クシ オシ バク
むぎ

成り立ち



むかしの字は「麥」でした。「來」が、むぎのかたちをあらわした字で、「父」は「足のうら」のかたちをあらわした字です。「むぎ」は、足でふまればふまれるほどつよくそだちます」。それで「父」があります。

〔麦は、中国の古代に中央アジアから伝来したものである。それで、麦の本字「來」に、足の意味の「父」を加えて「麥」という字を作り、「來る」という意味を表した。ところが、「來る」といういみの「麥(麦)」が「むぎ」にあやまってつかわれ、「むぎ」の意味の「來(來)」が「くる」になった。「おと」を表した「声」が「こえ」になり、「こえ」を表した「音」が「おと」を表す文字となったのと同様の例である。〕

使い方

▽大麦は、米とまぜて、麦飯としてたべますが、小麦はこなにひいて、パンやうどんにしてたべます。つぶが大麦にくらべて小さいので、小麦といえます。

熟語例

- ▽大麦 (麦のなかま。麦飯にしてたべるほか、ビールやみそ、しょうゆのげんりようにつかわれます。)
- ▽小麦 (麦のなかま。ひいてこなにし、パンやうどんやおかしのげんりようにつかわれます。)
- ▽麦飯 (大麦と米をまぜて、たいたごはん。むかしは麦だけでたいたごはんのことをいいましたが、今では十〜二十パーセントの麦をまぜてたきます。)
- ▽麦茶 (大麦をいって、お茶のようにせんじてのむのもののこと。「麦湯」ともいいます。)
- ▽麦藁 (麦のつぶをとりさった「くき」のこと。麦から「ともいいます。)
- ▽麦芽 (大麦を発芽。「芽を出すこと」させたもので、ビールやあめのげんりようになります。)
- ▽麦酒 (ビールのことです。大麦をげんりようにして作った酒、といういみのことばです。)

半

二年 画数 5
筆順 一 三 半
オン ハン
クシ なかハ

成り立ち



「牛」という字と、二つに分けたかたちをあらわした「ハ」とをくみあわせてつくった字です。「牛を二つに分ける」ことをあらわした字です。「牛を半分」にする」ことで、「半分」「半ば」といういみにつかわれます。

使い方

- ▽おじいちゃんにお年だまをもらったので、半分ちよきんして、半分つかいました。
- ▽どようびのじゆぎようは半日でおわりです。
- ▽まだ正月半ばなのに、もうはるのようなたたかい日です。「ことしははるが早いね」と、おばあちゃんがいきました。

熟語例

- ▽半分 (ものを二つに分けた、かたほう。半ば)
- ▽半日 (一日の半分)
- ▽半月 (一月の半分。十五日)
- ▽半月 (半月のお月さま)
- ▽半減 (半分に減ること。)
- ▽半端 (ちやんとぜんぶそろっていないこと。なにか、かけたものがあるものこと。)
- ▽半死半生 (半分死にかかっていること。「半死半生の目にあつた」といえば、ひどい目にあつて、死にかかつた、ということ。)
- ▽一知半解 (じゆうぶんよくわかっていないこと。なまかじりて、よくわかっていないこと。)